2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月5日

上場会社名　KHネオケム株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4189　URL https://www.khneochem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　理夫
問合せ先責任者　(役職名) 取締役　常務執行役員　(氏名) 蓮尾　太郎　TEL 03-3510-3550

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	83,608	△3.4	10,398	22.3	10,445	26.5	7,296	29.7
2025年12月期第3四半期	86,588	△0.2	8,505	16.2	8,259	15.0	5,627	14.3

(注) 包括利益　2026年12月期第3四半期　8,260百万円　(35.4%)　2025年12月期第3四半期　6,101百万円　(17.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	208.36	―
2025年12月期第3四半期	156.27	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	133,266	77,080	55.6
2025年12月期	130,102	72,630	53.6

(参考) 自己資本　2026年12月期第3四半期　74,074百万円　2025年12月期　69,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	52.50	―	52.50	105.00
2026年12月期	―	55.00	―		
2026年12月期(予想)				75.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	△1.0	13,500	20.0	12,600	16.7	8,700	11.5	248.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、添付資料P．8「2．四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期3Q	37,149,400 株	2025年12月期	37,149,400 株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	2,131,484 株	2025年12月期	2,140,784 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期3Q	35,016,713 株	2025年12月期3Q	36,004,713 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(ＢＢＴ)」において信託口が保有する当社株式(2026年12月期３Ｑ 138,000株、2025年12月期 147,300株)が含まれております。また、ＢＢＴにおいて信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2026年12月期３Ｑ 139,203株、2025年12月期３Ｑ 139,812株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2026年11月５日に機関投資家・アナリスト向け説明会をオンラインで開催する予定であり、決算説明会資料については、当社ウェブサイトに同日掲載する予定です。なお、説明会のプレゼンテーション動画、説明スクリプトおよび質疑応答要旨については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

https://www.khneochem.co.jp/ir/document/presentation/

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（追加情報） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上高は836億８百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益は103億98百万円（同22.3%増）、経常利益は104億45百万円（同26.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億96百万円（同29.7%増）となりました。

また、１株当たり四半期純利益は208.36円となりました。

事業分野別には、次のとおりであります。

（事業分野別の売上高の概況）

区分	前年同四半期		当第３四半期連結累計期間		増減	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	増減率（%）
機能性材料	42,669	49.3	38,694	46.3	△3,975	△9.3
電子材料	8,891	10.3	11,548	13.8	2,657	29.9
基礎化学品	34,481	39.8	32,844	39.3	△1,637	△4.7
その他	546	0.6	522	0.6	△24	△4.4
合計	86,588	100.0	83,608	100.0	△2,980	△3.4

（事業分野別の営業利益の概況）

区分	前年同四半期		当第３四半期連結累計期間		増減	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	増減率（%）
機能性材料	8,352	75.4	6,406	49.1	△1,945	△23.3
電子材料	1,864	16.8	3,032	23.2	1,169	62.7
基礎化学品	755	6.8	3,634	27.8	2,880	381.5
その他	104	0.9	△22	△0.2	△126	－
本社費	△2,569	－	△2,653	－	△84	3.3
合計	8,505	100.0	10,398	100.0	1,893	22.3

＜機能性材料＞

エアコン市場は、新興国・日本・欧州は堅調に推移し、米国は回復の兆しが見られましたが、最大市場の中国では不動産不況が続く中で家電補助金効果の剥落や夏場の天候不順が重なった影響によりエアコン生産の調整局面が継続し、世界のエアコン販売は前年割れとなりました。そうした背景の中、当社の冷凍機油原料は、需要減少に加え、上期を中心に大規模な定期修繕や中東情勢による原料調達不安が影響し販売数量が減少しましたが、足元は原料懸念も緩和し、販売数量は回復傾向にあります。化粧品原料は、国内を中心に底堅く推移しました。その結果、売上高386億94百万円（前年同四半期比9.3%減）、営業利益64億６百万円（同23.3%減）となりました。

＜電子材料＞

半導体市場は、生成AI関連の需要増大を背景にデータセンター投資が拡大し、先端半導体の好調を維持しました。半導体微細化を支える素材への高品質ニーズも継続しました。そうした背景の中、当社は旺盛な需要を捉えて高純度溶剤、機能性モノマー／ポリマーともに好調に推移しました。先端半導体向け高純度溶剤が収益性向上に寄与した結果、売上高115億48百万円（前年同四半期比29.9%増）、営業利益30億32百万円（同62.7%増）と大幅増益となりました。

＜基礎化学品＞

国内自動車生産および住宅着工は回復傾向も前年並みとなりました。中東情勢の緊迫化によるナフサ由来製品の一部のサプライチェーンの混乱は落ち着きましたが、輸入品の流入は継続しました。当社は中東情勢や輸入品流入の影響もあり販売数量は減少しましたが、原料高騰の価格転嫁を進めるとともに、収益改善の取組みを推進した結果、売上高328億44百万円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益36億34百万円（同381.5%増）と大幅増益となりました。

＜その他＞

売上高は５億22百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業損失は22百万円（前年同四半期は営業利益１億４百万円）となりました。

（注）上記の事業分野別の「営業利益」には、全社に共通する管理費用等は含まれません。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は691億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億83百万円増加いたしました。これは主に、その他が13億75百万円減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が18億79百万円、商品及び製品が14億30百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は641億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億81百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が13億34百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は1,332億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億64百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は431億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億93百万円減少いたしました。これは主に、未払金が43億80百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が51億56百万円、修繕引当金が25億17百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は130億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億７百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が４億41百万円、修繕引当金が４億37百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は561億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億86百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は770億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億50百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当37億79百万円により減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益により72億96百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年８月４日の「2026年12月期 第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,719	6,299
受取手形、売掛金及び契約資産	32,877	34,756
商品及び製品	19,484	20,914
仕掛品	614	911
原材料及び貯蔵品	4,173	4,246
その他	3,392	2,017
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	67,253	69,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,060	37,562
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,081	△28,618
建物及び構築物（純額）	8,980	8,944
機械装置及び運搬具	114,205	116,909
減価償却累計額及び減損損失累計額	△96,633	△99,045
機械装置及び運搬具（純額）	17,571	17,864
土地	17,549	17,549
リース資産	1,958	2,044
減価償却累計額	△843	△989
リース資産（純額）	1,116	1,054
建設仮勘定	1,377	906
その他	8,366	8,663
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,027	△5,973
その他（純額）	2,339	2,690
有形固定資産合計	48,933	49,008
無形固定資産		
のれん	706	605
その他	448	355
無形固定資産合計	1,154	960
投資その他の資産		
投資有価証券	8,640	9,975
退職給付に係る資産	3,532	3,615
繰延税金資産	248	247
その他	343	326
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	12,762	14,161
固定資産合計	62,848	64,129
資産合計	130,102	133,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,399	17,243
短期借入金	9,950	10,075
コマーシャル・ペーパー	1,999	2,998
リース債務	119	138
未払金	5,590	9,971
未払法人税等	1,860	1,485
賞与引当金	35	450
修繕引当金	2,767	250
その他	513	529
流動負債合計	45,232	43,139
固定負債		
社債	5,000	5,000
リース債務	1,222	1,139
繰延税金負債	3,325	3,765
退職給付に係る負債	2,271	2,321
役員株式給付引当金	254	224
修繕引当金	－	437
その他	169	161
固定負債合計	12,240	13,047
負債合計	57,472	56,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,855	8,855
資本剰余金	6,203	6,223
利益剰余金	56,514	60,031
自己株式	△5,364	△5,347
株主資本合計	66,209	69,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,195	3,105
繰延ヘッジ損益	△0	5
為替換算調整勘定	148	151
退職給付に係る調整累計額	1,125	1,052
その他の包括利益累計額合計	3,467	4,312
非支配株主持分	2,954	3,005
純資産合計	72,630	77,080
負債純資産合計	130,102	133,266

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	86,588	83,608
売上原価	68,157	63,465
売上総利益	18,431	20,143
販売費及び一般管理費		
運送費	3,152	2,912
その他	6,773	6,832
販売費及び一般管理費合計	9,925	9,744
営業利益	8,505	10,398
営業外収益		
受取利息及び配当金	171	196
持分法による投資利益	237	389
その他	124	74
営業外収益合計	532	658
営業外費用		
支払利息	150	171
支払分担金	187	56
固定資産処分損	326	256
その他	115	129
営業外費用合計	779	612
経常利益	8,259	10,445
税金等調整前四半期純利益	8,259	10,445
法人税等	2,552	3,030
四半期純利益	5,706	7,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	119
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,627	7,296

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	5,706	7,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	472	910
繰延ヘッジ損益	△8	5
為替換算調整勘定	△29	3
退職給付に係る調整額	△40	△73
その他の包括利益合計	395	845
四半期包括利益	6,101	8,260
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,021	8,141
非支配株主に係る四半期包括利益	80	119

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	4,585百万円	4,617百万円
のれんの償却額	101	101

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、化学品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（役員に対する業績連動型株式報酬制度）

当社は、役員の報酬について業績との連動性をより一層高めると同時に、株式価値との連動性を明確にし、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、役員に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT（＝Board Benefit Trust））」（以下「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が設定する信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という。）が、当社より拠出する金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて、役員（監査等委員である取締役および社外取締役を除く、取締役および執行役員をいい、以下「役員」という。）に対し、当社が定める役員株式給付規程に従って、役位、業績達成度等に応じて当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下「当社株式等」という。）を給付する業績連動型株式報酬制度であります。なお、役員が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役（監査等委員である取締役を含む。）および執行役員のすべての退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末363百万円、147千株、当第３四半期連結会計期間末346百万円、138千株であります。